

海外実習レポート 藤田知子(Fujita Tomoko)

2023年8月7日～19日

Yukiguni Education Consultancy Pvt. Ltd. (NEPAL Bhaktapur)

学校

学校はバクタプルの出入口からすぐ近くのビルの2階にある。エアコンがなく、扇風機だけなのに、ちょくちょく停電になるから、暑い。大抵はすぐ回復するが、たまに何時間も電気がこない時がある。教室も真っ暗になるが、生徒がスマホで照らしてくれる。停電になると WiFi も使えなくなるから、SIM を作ってもらって良かった。

授業はタマン先生とアショク先生の2人で教えている。生徒は140人くらいいるらしい。そして毎日のように相談の人が来て、入学手続きをして、時間があれば、すぐ授業に入れるようだ。6時～10時まで1時間ずつ7クラス、11～13時まで1時間ずつ3クラス、1クラス10～20人を2人で分担している。午後も授業をやる時もある。その中から1日3クラスやらせてもらい、2時間準備で、1日5時間。8日で40時間実習させてもらう。時間にルーズなようで、だいたい10分くらいずつ遅れてスタート。遅刻者も多い。1つのクラスは就職面接の練習だったので、とても難しい。準備に時間がかかり、個別に相談にのったりして大変だった。他の授業は1つの課を3日ずつ。導入とテキストの練習、問題、会話を順にやった。yukiguniでは、VISA取得目的なので、丸暗記方式のようだ。どんどん覚えさせて、進めていくスタイル。生徒は意欲的で、真面目に受けていた。確認のために不安そうな人に声をかけても、周りの人がすぐ教えてしまう。言わないで。と言ってもダメだった(笑)トイレは日本の和式のようだが、少し違うから使いにくい。でも、キレイにしているので、安心して使える。飲み水はボトルに入れて、各教室に置いてある。みんな口をつけないようにして、それを飲む。私は少し抵抗があり、自分のボトルに洗面所にあるタンクから入れさせてもらった。いつも11時をすぎると、タマン先生の奥様が作ってくれたお弁当を出してくれた。それをアショク先生と2人で食べた。とても美味しい、有難い。それから、15時頃にも何かしら食事を出してくれた。私はホテルで18:30に夕飯をいただくので、少しだけいただいた。これもまた、いつも美味しい！

1日目の帰り、2日目の朝、昼と3回も道に迷う。ホントに分かりにくい街だ。普段、道に迷わない私がなかなかたどり着けない。カトマンドゥの人でも迷うらしい。謎の街。

最終日に全員で遠足に行った。みんないつもよりオシャレってきて可愛かった。学校からバイクで5分ぐらいの所にある丘の上。みんなで歩き出してから、数人の生徒がバイクでピストンして乗せてくれた。みんなでご飯を食べて、ゲームをやったりした。どのゲームもやりたい人がやるスタイル。生徒の授業中とは違う表情が見られて、とても楽しかった。でも、17時までと聞いていたのが、19時までかかってしまったのが、残念だった。

全員とにかく日本に行きたい、日本で働きたい、日本に憧れている純粋で素直な生徒達だった。そして、先生方お二人とも、とても優しくて、頼もししい。先生方のお陰でなんとか実習を終えることができた。



ホテル

Sweet in (Sweet home) 夕食付き 1泊 1200NPR (1200円)

夜中到着。扇風機、電気ポット、ドライヤー、虫除けを貸してもらう。トイレにゴミ箱がないから、紙を流してしまったら、詰まる。翌日、聞いたら、流しちゃダメだったらしい。ゴミ箱をもらい、流さないようにする。シャワーのお湯が出ない。翌朝、直してもらうも、水圧がなく、水道で弱めのお湯を浴びている感じ。エアコンなし。扇風機だけでちょうど良い。虫はほとんどいなかった。アメニティは何も無い。ソープとティッシュは欲しいと言ったら、すぐ持ってきてくれた。テレビはあるけど、つかない。聞いてみたら、配線しないとつかないらしい。観たいならやってくれるそうだけど、観ないから頼まなかった。

WiFiはあるけど、弱いし、使う人が多いと固まる。お願いしないと、部屋の掃除をしてくれない。お願いしても翌日とかになる。ゴミ箱だけ、外へ出しておいたら、捨ててくれた。バスタオルもお願いして、交換してもらう。周りのホテルより安いから、仕方ない。

食事は美味しかった。いつもチャイを入れてくれて、それがとても美味しかった。18:30～19:00くらいに呼びに来るか、自分から行く。要らない時は早めに伝えた。夕食を食べなくても料金は変わらない。

タンクの水はフリーで飲める。毎朝、ボトルへ自分で入れる。

場所が良かった。バクタプルの中心にあり、学校から歩いて10分かからないくらい。毎朝、通学時にお祈りしている人を見られる。屋上からの景色も GOOD !



空港

【往路】

ネパールのアライバル VISA は事前にオンライン申請をしていたので、そのまま immigration カウンターに向かつてしまったら、支払いのカウンターが後ろにあって、そっちに行くように言われる。そこで \$30(15 日)払って、再度 immigration カウンターへ。何も聞かれなかった。入国すると、SIM のカウンターがいくつかあるけど、タマン先生に聞いてからにしようと思う。長い通路を進んで行くと、タマン先生とアショク先生が待っていてくれた。花束とカダで歓迎してくれる。タクシーに乗せてくれば、バクタプルのホテルへ。30 分くらいで着いた。

【復路】

ホテルへアショク先生がタクシーで迎えに来てくれた。学校へ寄って、タマン先生と合流して、空港へ。生徒がオンライン面接をしていたため、出発が少し遅くなった。道も混んでいて、空港に着いたのが 1 時間前。昼間なので、immigration も security check もとても混んでいて、時間がかかった。なんとかギリギリセーフで飛行機へ。もう少し早く行けばよかった。帰る時もカダで見送ってくれた。

その他

1 日目、バクタプルに出入りするため pass を作る。写真 2 枚と 1800NPR(期間フリー pass)が必要で、入口のゲートとダルバール広場ライオンゲート横の事務所の 2ヶ所に申請する。タマン先生が連れて行ってくれた。

SIM はアショク先生が作ってくれた。私のスマホが OPPO(Android)だから、スムーズにいかなくて、ややこしそうだった。全部やってもらったので、とても助かった。1 週間 4.5G129NPR のプランを選んだが、たくさん余ったので、もっと少ないプランで良かったと思う。初めにチャージするみたいで 200NPR 払った。

学校の休みは土曜日だけ。唯一の休みの日にカトマンドゥへ遊びに行った。これも「カトマンドゥへ行こうと思う。」と話したら、アショク先生が、バイクで連れて行ってくれた。交通事情が違いすぎて、面白かった。観光客も多く、賑やかだった。

コンセントは日本のプラグがそのまま使える。

人気のアニメは、ワンピースとクレヨンしんちゃんだった。

